

# 宝塔 奉納のおすすめ

仏教の開祖であるお釈迦様が入滅された後、荼毘に付されたご遺骨（仏舍利）は八分され各地で祀られました。その後古代インドのアショーカ王によつてさらに細かく分けられ、インド各地に八万四千の仏舍利塔が建てられ、その宝塔は仏教の象徴としての意味を持つようになりました。

お釈迦様が各地で説かれた広大無辺なる教えは『八万四千の法門』と呼ばれるようになり、その教えに帰依することによつて、苦から離れ安樂を得て、亡き者は極楽浄土に往生すると説かれています。

高野山奥之院の弘法大師御廟までの二キロの参道には、皇族をはじめ戦国武将や一般庶民まで様々の方の墓碑や五輪塔など約二十万基ともいわれる供養塔が立ち並んでいます。その供養塔のひとつひとつは、お大師さまにお守りいただき浄土へ導かれますようにとの願いを込めて、お大師さまのお膝元である奥之院に宝塔を奉納するという信仰が、今に受け継がれてきたものです。

納められている五輪塔（宝塔）は大日如来そのものを表し、宝塔を奉納することで自身の仏性とお大師さまとのご縁を結び、心の拠り所とされてきました。

令和元年四月に高野山円通律寺において発見された一万数千基からなる木製の「八万四千宝塔」もまた、江戸時代の大師信仰を今に伝えるもので、江戸中期から後期に至る民衆の願いが込められた宝塔であり、高野聖が全国各地を行脚し、人々の願いを高野山にお届けし、奉安されてきたものです。

このたびの『令和の宝塔』は奥之院燈籠堂地下法場をはじめ、お大師さまの御廟近くに奉安いたします。皆様の思いがつまつた宝塔を弘法大師御宝前にご奉納いただき、ご縁をお結びいただきますことをお勧めいたします。

## 八万四千宝塔

奉納料 金3万円也  
材質 木製  
寸法 3×3×10cm

## 五輪塔

奉納料 金30万円也  
材質 木製  
寸法 9×9×27cm



# 令和の宝塔奉納清規

お大師さまの御廟前に全国各地・檀信徒、篤信の方々をはじめ各寺院・教会・会講社の皆様から報恩謝徳の真心のこもつた宝塔奉納をお受けいたします。

なお、宝塔のご奉納は左記清規によつて承ります。

一、ご奉納は、個人・団体の何れにてもお受けいたします。

二、胎内奉納願文に、願意とお名前を記し、宝塔内にお納めいたします。八万四千宝塔は一基につき一名、五輪塔は複数名ご記入いただけます。

三、皆様の篤き祈りをもつてご奉納いただいた宝塔は、奥之院燈籠堂地下法場をはじめ、お大師さまの御廟近くに奉安いたします。奉納場所は指定できません。

四、ご奉納の後、奉納之証をお届けいたします。願主が複数の場合には、代表者様へ一部のみのお渡しとなります。

一、宝塔の返還並びに開示は原則としていたしかねます。

二、お申し込みご入金は、金剛峯寺、奥之院燈籠堂にて承りますほか、全国の高野山真言宗寺院、教会でもお取次を承ります。

三、ご入金の際は、郵便振替もご利用いただけます。  
口座記号番号「〇〇九九〇一六一四九六六」

加入者名「総本山金剛峯寺」

通信欄に「令和の宝塔」(宝塔の種類・数)のご記入をお願いいたします。



## 高野山真言宗 総本山金剛峯寺

〒648-0294 和歌山県伊都郡高野町高野山132 奉納係

0736-56-2011 0736-56-4640

✉ hounou@koyasan.or.jp